



# こだま

佐久市鳴瀬1350-1

0267-67-2459

文責 教頭 高柳淳一

## 鯉の滝登り ~思い切りやってみる47日間~

13日間の冬休みを終え、1月9日（火）より三学期が始まりました。校長先生からは、まず、1日におこった能登半島地震に対し、哀悼の意を述べられました。そして、辰年にあわせ、鯉の滝登りにかけて、私たちも鯉のように自分の目標に向けて思いっきりやってみようと言われました。児童代表6年 さんは、三学期にやってみたい3つのこと、①本を読む時間を増やす。②積極性を高める。③「初志貫徹」という言葉を大切にする。を発表しました。さすが6年生、具体的な理由や方法も交えて、堂々と発表しました。自己を高める素晴らしいめあてでした。



## そり・スキー教室



今年は雪がほとんどありません。暖かい日が続いていますが、パラダのゲレンデは銀世界。子ども達は目を輝かせながら、1年生はそり教室、4・5・6年生はスキー教室を行いました。晴天の下、1年生は1時間、4・5・6年生は4時間、雪に親しむことができました。



1年生はそりゲレンデで、滑り方、ブレーキのかけ方を教わり、何度も何度も楽しそうに滑っていました。ゴールギリギリで止まれる子もたくさんいました。

4・5・6年生は初心者から中級者までレベル別クラスで、インストラクターに教わりながら、それぞれのレベルにあった斜面で滑りました。スキーは初めての子達もリフトに乗ることができました。



12月には2・3年のスケート教室もありました。立春も近いですが、まだまだ寒い日は続きます。ご家庭でもスキー・スケート・そりなど、冬のスポーツに親しんでみてはいかがでしょうか。

## 高瀬にも届いた 大谷グローブ

1月16日、大谷翔平選手からグローブが届きました。早速児童玄関前に飾り、「自由に手に取ってはめていいですよ。でも、1

69名の児童に3つのグローブ、どうやって使うか19日の校長講話の時にみんなで考えましょう。」と校長先生からお知らせがありました。19日、6年代表児童がこのグローブを使ってキャッチボールのデモンストレーションをする中、全校児童が体育館に集まりました。「この3つのグローブは学校への寄付となります。それ以上に私はこのグローブが、次の世代に夢を与え、勇気づけるシンボルとなることを望みます。それは、野球こそが私が充実した人生を送る機会を与えてくれたスポーツだからです。このグローブを学校でお互いに共有し、野球を楽しんでもらうために、私からのメッセージを学校の子も達に伝えてください。『野球しようぜ』というメッセージを聞いた後、たてわり班で「このグローブをどのように使うか」話し合った結果、「順番を決めて、6年生から順番に使っていく」という方向が出されました。6年生から使う理由は、下級生の「もうすぐ卒業の6年生にはじめに使って欲しい」という思いからでした。いただいたグローブ、大切にに使わせていただきます。



## いのちの授業



学年、佐藤養護教諭による性教育が行われています。  
各学年の目標・内容は、

- 1年生『からだの名前 からだはわたしのもの』  
①からだの外の名前②からだの中の名前と性器の名前③自分のからは自分のもの
- 2年生『おなかの中の自分』  
①おなかの中の赤ちゃん②誕生までの10ヶ月③生まれてみよう
- 3年生『いのちのはじまり～わたしたちはどうやって生まれてきたの?～』  
①性器の名前・プライベートゾーンの復習②いのちのもとはどこにあるの?  
③いのちのもとはどうやっていっしょになるの?
- 4年生『大人に変化していく自分』  
①いのちを生み出すからだ(射精・排卵・月経のしくみ) ②おっぱいの不思議  
③自己紹介文を書こう④性って何だろう
- 5年生『大人へ近づく心と体』  
①自己紹介文を書こう②変わっていく心とからだ③いのちを生み出す体～射精・月経～  
④基は同じでみんな違う～人の数だけ性がある～
- 6年生『どう生きるか? (性と生)』  
①一生の中の今②ふれあい③同意ってなあに?④いのちを生み出すからだ～射精・月経～



です。それぞれの発達段階に合わせ、大切な学習を積み重ねていきます。「性情報」では興味本位で大げさにふざけあったり、逆に嫌悪感を抱いて避けたり、偏った知識になってしまいます。小学生の時から正しい科学的な「性教育」を受けることで、命の大切さや生命の神秘、生まれてきたことへの感謝の気持ちなどを感じ取ることができると思っています。

授業後は全校に保健だより特別号がオクレンジャーで配付します。該当学年には、印刷したものも配付します。どの様な学習をしたのか、是非お子さんと話してみてください。



## 思いやりの授業

2年生はブラインドサッカー選手でマンドリン奏者である中沢医さんを講師にお迎えし、「見えないってど

ういうこと」の授業を行いました。中沢さんは中学生の時に事故に遭い、視力を失ったそうです。また、進行性の病気にもかかり、歩くのも大変だったそうです。一時期は何もする気が起きず、自分の人生を悲観していたそうですが、あるとき、このままじゃいけないと一人暮らしをはじめ、ブラインドサッカーやマンドリンと出会い、今は充実した人生を送っているそうです。



子ども達は、アイマスクをつけて、円になり、ブラインドサッカーで使うボールを隣の人に手渡しするゲームをしました。始めのうちはただ手を出して待っている子やボールを持っても、どこに相手がいるか分からないので困っている子もいましたが、徐々に相手の存在を意識し、「こっちだよ」などと声をかけていました。中沢先生曰く、コミュニケーションで大切な3つのこととは、「話す・聴く・思いやり」だそうです。

大切なコミュニケーションの仕方を学びました。



## 学校の取り組み

月に1回職員会や職員研修の時間に様々な研修を行ってきています。非違行為防止については、体罰、暴言、性暴力、飲酒運転、情報漏洩など、法令違反に関する事例を読み合わせたり、話し合いをしたりしました。また、子どもとメディア信州の伴先生や長

野県警察の田中先生を講師にお迎えしご指導いただきました。授業改善については、探究的な学びやICT(タブレットや大型提示装置)について、実践を紹介したり、効果的な使い方を市教委菊池先生にご指導いただいたりしています。今後は県内外の先進的な活動をしている学校に視察に行った職員からの報告会も予定しています。また、すまいる相談室は、児童や保護者の皆さんのお悩みや困りごと、要望などご相談いただけます。校長・教頭・養護教諭などがお話を伺いますので、お気軽にご連絡ください。

